



利根中央病院だより

きらめき



第65号
2022年 秋号

発行責任者 利根中央病院 病院長
編集責任者 利根中央病院 事務長
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1
TEL：0278-22-4321（代表）
FAX：0278-22-4393
URL：https://www.tonehoken.or.jp/

泌尿器科の紹介

～外来から入院や一部の手術が再開へ～



泌尿器科科長 かねこ ゆうき
金子 裕生

泌尿器科は、腎臓、膀胱、前立腺、男性生殖器などの疾患を扱っています。おしっこが出にくい、トイレが近い、おしっこに血が混じるなどの症状がありましたら、まずは外来へお越しください。紹介もお気軽にご検討ください。

さて、利根中央病院の泌尿器科は、1987年の開設から現在まで、群馬大学泌尿器科学教室の支援のもと、専門医が診療を行ってきました。数年間、外来診療のみで、ご不便をおかけしましたが、この度（2022年7月から）、入院治療と一部の手術を再開いたしました。利根沼田地域で治療を希望するかた

には、利便性が向上すると思っています。しかしながら、当院のみでの治療が困難な疾患もあるため、これまで通り、利根沼田地域の医療機関だけでなく、渋川、前橋、高崎地域の病院とも連携をとってまいります。

具体的には、新たな機器を導入し、前立腺の針生検や膀胱癌の手術をスタートしており、今年度中には、尿路結石レーザー破碎術や前立腺肥大症の手術を再開する予定です。

心配な症状がありましたら、まずは外来でご相談ください。



泌尿器科外来



胃ESDについて

胃ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）は早期胃がんに対する低侵襲な内視鏡治療です。従来は胃がんの治療法といえば外科手術でしたが、現在はリンパ節転移リスクの低い早期胃がんに対してはほぼESDで治療が行われます。

胃ESDの歴史

1960年代にスネアで治療するポリペクトミーが開発され、1980年代にはEMR（内視鏡的粘膜切除術）が登場し、2000年代に入りESDに発展してきました。以前は先進施設でのみ行われてきましたが、現在は手技が普及し一般市中病院でも行われるようになってきています。

胃ESDの適応

治療の適応は「リンパ節転移の可能性が極めて低く、腫瘍が一括切除できる大きさと部位にあること」（「胃癌治療ガイドライン」より）とされます。具体的には、分化型がんで潰瘍合併のない粘膜内がんであれば病変の大きさの制限はなく、潰瘍合併があっても3cm以下の粘膜内がんであれば適応となります。また2021年には未分化型がんで潰瘍合併のない2cm以下の粘膜内がんも追加適応となりました。

胃ESDのメリット・デメリット

ESDは病変の周囲正常粘膜も含めて広く一括切除することが可能です。EMR（内視鏡的粘膜切除術）と比べ取り残しの可能性が低く、遺残再発の可能性が極めて低いとされます。外科手術と比べ侵襲が非常に少ないとされ、胃が残るという大きなメリットがあります。一方で手技的に難易度が高く、処置に時間

消化器内科医長 深井 泰守

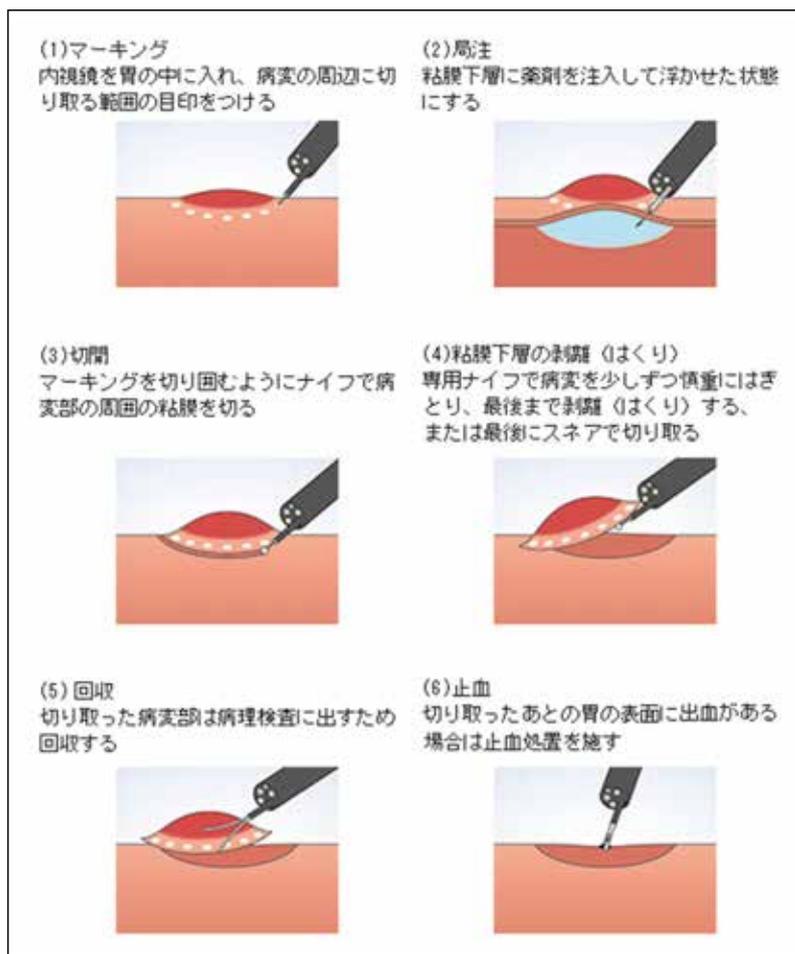


を要します。また主な偶発症として後出血（4.1～8.5%）や穿孔（2.3%）などがあります。

利根中央病院での胃ESDに関して

以前は利根沼田地域の患者さんは、他院に紹介となっていたのですが、今年度から当院でも胃ESDを始めました。今後、症例を増やしていき利根沼田地域での早期の胃がん診療に少しでも貢献できたらと考えています。

図1 胃ESDの手技



オリンパス「おなかの健康ドットコム」より引用
https://www.onaka-kenko.com/endoscope-closeup/endoscopic-therapy/ep_08.html

心不全早期発見の取り組み

心不全早期発見プロジェクトチーム

心不全という病気は一度発症すると根治は期待できず、入退院を繰り返しながら生活の質を下げる予後の悪い疾患とされています。したがって早期発見が重要で、心不全症状が出現する前に発見し、高血圧や糖尿病などのリスク因子への介入や、狭心症や弁膜症など器質的心疾患への治療を適切に行うこと

で心不全の発症を予防する必要があります。

利根中央病院ではすでに発症している心不全患者さんだけでなく発症する前の患者さんに対しても早期介入を目指し「心不全早期発見プロジェクト」を立ち上げ地域の先生方にご協力頂きながら心不全

患者さんへの早期対応を始めています。

具体的なプロジェクトの流れとしては心不全の可能性を調べる簡易的なチェックシートを地域の先生方へ配布し、そのシートに従って検査をしてもらいます。チェックシートで該当する患者さんを当院へ紹介していただき詳しい検査をして必要であれば専門的な検査、治療、リハビリ、生活指導などを行います。専門的な治療が必要でない場合や当院での治療が終了した場合は紹介元の先生に検査結果をお返し経過観察をして頂きます。このように地域の先生方と連携して心不全患者さんが悪くなる前に早期の介入をして患者さんの健康を保っていきたいと考えております。

当院の循環器では心臓リハビリテーションチームを中心に多職種が連携して患者さんの問題点を総合的にとらえて各専門職種の介入を進めていて、地域で暮らす人たちが健康でいきいきと生活できるよう支援していききたいと考えております。

これからも新しい取り組みを進めて利根沼田地域の健康増進に寄与できればと考えていますのでよろしくお願いいたします。

診療情報提供書

紹介先医療機関名 利根中央病院 <紹介元>
以下の患者様をご紹介しますのでよろしくお願いいたします。 日付 年 月 日

心不全患者早期発見のためのチェックシート

以下の項目に当てはまるものにチェックをお願いします。

<既往症・既往歴>

- 高血圧
- 糖尿病
- 動脈硬化性疾患（脳梗塞、ASO、脳動脈硬化等）
- 冠動脈疾患の既往
- 放射線治療歴・抗がん剤（アントラサイクリンなど）使用歴
- 手動管腔狭窄

<症状>

- 労作時息切れ
- 起座呼吸

<身体所見>

- 浮腫
- 心雑音

1項目以上チェックがある場合は採血でBNPあるいはNT-proBNPを測定

採血検査

- BNP > 40pg/ml
- NT-proBNP > 125pg/ml

実際のデータ () pg/ml

いずれかチェックがある場合は利根中央病院地域連携室へ紹介をお願いします。

患者様のお名前、性別、年齢、生年月日、電話番号を記入をお願いします。
利根中央病院 地域連携室まで電話でご連絡していただき、この用紙をFAXしてください。

患者氏名: _____ 性別 男 女 年齢 _____

生年月日: _____ 電話番号 _____

利根中央病院 地域連携室 TEL 0278-25-9800
FAX 0278-25-9801 受付時間 8:30 - 16:30

心不全早期発見チェックシート



心不全早期発見プロジェクトチーム

医療講演会開催

事務次長 ^{みずの} **水野** ^{まさとし} **正敏**

10月6日、東京女子医科大学産婦人科学講座教授・講座主任の田畑務先生をお招きし、医療講演会「子宮頸がんと妊娠」を開催しました。今回は職員対象の講演会で、総勢49名が参加しました。

日本は先進国で唯一子宮頸がんが増えているそうです。若年で子宮頸がんになると子宮をとって妊娠をあきらめたり、子宮を残すことができても妊娠し



にくくなったりすることを症例をもとにご説明いただきました。

子宮頸がんの危険因子であるヒトパピローマウイルス（HPV）感染は特別なものではなく、女性の80%は、一生に一度はHPVに感染すると言われています。

子宮頸がんはHPVワクチンでの予防と、検診での早期発見が大切であることがとても良くわかりました。子どもを持つ職員からは、HPVワクチンを打たせたいという声が多く聞かれました。



きらめき トピックス

職員のもとへ千羽鶴と 応援メッセージが届きました

～コロナに立ち向かっている患者さん、
お医者さん、看護師さんを応援しよう～

片品村の小学校から、日々コロナ患者さんを沢山受け入れている病院へ感謝の気持ちを届けたい、と



千羽鶴とメッセージをいただきました。

片品小学校では1年生から6年生の生徒さんが自主的に「千羽鶴プロジェクト」を立ち上げ、全校へ折り鶴の作成を呼びかけて、千羽に到達したものを届けてくださいました。

折り鶴は様々な大きさや形があり一生懸命作成した子どもたちの姿が浮かびました。メッセージには「コロナに負けずに頑張ってください。」と応援メッセージが多数ありました。

コロナウイルス感染症の終息はまだ先のようですが、地域の子どもたちからの心温まる贈り物に職員はとても癒されました。

新任医師紹介

栃木医療センター専攻医の山口高史と申します。総合診療研修で半年間お世話になります。群馬県は初めてですが、利根中央病院のお力になれるよう頑張りますのでご指導の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



やまぐち たかし
山口 高史